



自分ごととして学ぶ

夏休みが終わり、中学生は前期期末テスト直前です。今年は今まで以上に異常な暑さによる体力の消耗があると思うので、体調管理も大切です。前日の夜に遅くまで詰め込み過ぎてテスト当日はフラフラということのないようにしましょう。

さてその暑いさなかに宮崎県を震源とする南海トラフ地震につながる可能性のある地震が起きました。幸い1週間以内に大きな地震は起こりませんでした。今後備えが必要でしょう。家具の固定・避難場所と経路の確認・家族との連絡方法の確認・水の備蓄などです。当塾では本棚等の家具はすべて固定してあります。テキスト類がバラバラと落ちてくることはあるかもしれませんが、本棚そのものが倒れることはまずありません。また推奨したいのは「災害用伝言ダイヤル171」の使い方をしておくことです。スマホがもし使えなかったりつながらなかったりした時の最終連絡手段となります。そのうえで家族が別々の場所にいた時、集合する緊急避難場所を決めておけば少し安心です。

中3は夏期講習中に中1で習う地震の復習をしました。揺れの大きさを表す震度と、地震の規模を表すマグニチュードの違いも分かってくれたと思います。中2はマグニチュードが2違うと地震の規模は32倍×32倍で1024倍になることを筆算で求めました。今回の宮崎県沖のマグニチュードは7.1で13年前の東日本大震災のそれは9.0でしたのでいかに東日本大震災のエネルギーが大きかったかを理解できたと思います。習ったことをテスト前だけに暗記しておいてあとはすっかり忘れてもいいこととするか、自分ごととして普段の生活に気をつけておくことと考えるかによって、ひょっとして自分の命を守れるかどうかにつながるかもしれません。歴史を学ぶ時にも、日本が戦争に突き進もうという時に自分だったら冷静になれたかどうかを考えてみたりすれば、ただの暗記科目の社会科にはなりません。また将来英語を使わずにすむ人はまずいないでしょう。中学で習う英文法は、まさに自分ごとの学びそのものです！